

平成26年度 第2学年 生活科

・ 教科の目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

・ 学年の目標

- (1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心をもち、それに愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。
- (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにする。

・ 本校では

本校は、川・田畑が近くにあり、四季の移り変わりを体感したり、自然からの贈り物を使って遊んだりするのに恵まれた環境にあります。地域の人にも協力をお願いして、主に米作りについてお話を聞いたり見学させていただいたりする活動を行います。

・ 評価の観点と方法

生活科は、社会・自然とかわる活動を五感を使って学習する教科です。生活科で、身に付ける力は、3年生以上の各教科、総合的な学習の基礎になると共に、これからの自分の生き方の基礎となるものです。

評価は「生活への関心・意欲・態度」「活動や体験についての思考・表現」「身近な環境や自分についての気付き」の3つの観点で評価します。

◇ 生活への関心・意欲・態度

生活の中に生きて働く力を育てることを目指します。長期的な見通しを立て、継続的に子どもの変容を見ていきます。

◇ 活動や体験についての思考・表現

活動しながらいろいろ考えたり、工夫したりして、よりよいものを求めていく姿を大切に評価します。その子なりの素直な表現がなされているか、そのための技能はどうなのかなどを、学習カードや作品・発表・対話などで見ていきます。

◇ 身近な環境や自分についての気付き

この観点は、生活科だけにあります。自ら進んで環境とかかわり、その中で気付き、分かったことを記した発見カードや日記などから評価します。

・ 保護者へのお願い

生活科は身近な環境と自分とのかかわりを深めることが中心となる学習ですので、学校と家庭との密接な連携が特に大切です。家庭と学校が一緒に行う学習です。学校で行う活動につきましては、学年日よりなどでお知らせします。準備物などでいろいろとご協力をお願いすることもあります。よろしく願いいたします。また、家庭での取り組みなど子どもさんの生活の様子もお知らせください。

月	学習内容	学習のねらい
4	2年生だ うれしいな ・学校の春を見つけよう ・もっと草花となかよくなるよう ・1年生をむかえよう ・春のまちを歩こう ・	・2年生になった喜びや期待感をもち、意欲的に学習や活動をすることができる。 ・植物に興味を持ち、五感をつかって観察を行うことができる。 ・1年生の立場になって学校を見直し、優しく学校を紹介したり案内したりできる。 ・身近な地域の春の様子を観察し、地域にあるものに関心を持つことができる。
5	おいしくそだて わたしのやさい (野さいをそだてよう) どきどきわくわく まちたんけん ・まちのことを話そう ・まちたんけんの計画を立てよう ・まちたんけんに行こう ・まちのことをつたえ合おう	・自分たちで育てる植物をみんなで話し合って決め、成長への期待や思いをもつことができる。 ・適切に・計画を立て、グループで安全に行動できる。 ・自分が気に入っている場所や人を友だちに伝えることができる。 ・地域の人々や自然・場所とかかわることを楽しむことができる。 ・公共施設やそこで働く人々に接して、親しみをもつと同時に、公共のマナーやルールを身に付ける。 ・町探検で調べたこと分かったことを表現方法を工夫して、分かりやすく伝え合うことができる。 ・町探検でお世話になった人に、感謝の気持ちをこめてお礼の手紙を書くことができる。 ・野菜の成長を楽しみにしながら大切に育て、収穫を喜ぶことができる。 ・発見したことや感動したことを絵や文で表現することができる。
6	(野さいのせわをしよう) 生きものなかよし大作せん ・生きものをさがしに行こう ・生きものをつかまえよう	・生き物の成長や変化を楽しみにしながら大切に世話をし、気付いたことなどを知らせ合うことができる。 ・生き物の飼育を通して、生き物にも自分と同じように生命があり、成長していることに気付くことができる。
7	(野さいをしゅうかくしよう) ・生きものをそだてよう (野さいのことをつたえよう) ・生きもの広場にしようたいしよう	・生き物は生命をもっていることや成長していることに気付き、それらに親しみを持ち、大切にすることができる。
9	うごくうごくわたしのおもちゃ ・うごくおもちゃをつくらう ・もっとくふうしよう	・自分なりに工夫しておもちゃを作って遊ぶことができる。 ・1年生や友だちにも分かるようにおもちゃ作りのことを説明することができる。

<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなであそぼう <p>みんなで行こうよ</p> <p>つかおうよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館へ行こう ・図書館のことを聞いてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで遊ぶ時のルールを考え、楽しく遊ぶことができる。 ・図書館に行き、安全やマナーに気付くとともに、施設を安全に、正しく利用する方法などが分かる。
<p>11</p>	<p>もっとなかよし</p> <p>まちたんけん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちたんけんの計画を立てよう ・まちの人に会いに行こう ・もっとまちの人となかよくなるよう ・なかよくなった人のことをしようかいしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の町を探検して、春との違いに気付いたり、新たな発見をしたり、人々とのかわりを深めたりできる。 ・冬の町探検で発見したことや教えていただいたことなどを、自分なりに考えた方法でみんなに伝えることができる。 ・春、夏、秋の様子と比較しながら、町の変化、冬らしさを見付けることができる。 ・四季の変化に着目しながら、町の様子や自分たちの発見、かかわりの変化などを様々な方法でまとめたり、表現したりすることができる。
<p>12</p>	<p>(サツマイモをしゅうかくしよう)</p> <p>聞いて 聞かせて</p> <p>まちのすてき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえろうまちのすてきなできごと ・まちの人につたえるじゅんびをしよう ・まちのすてきをつたえよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の成長を振り返り、野菜が生命をもっていることに気付くことができる。 ・収穫したり、食べたりした時の嬉しさを絵や文で表現することができる。 ・春、夏、秋の様子と比較しながら、町の変化、冬らしさを見付けることができる。 ・四季の変化に着目しながら、町の様子や自分たちの発見、かかわりの変化などを様々な方法でまとめたり、表現したりすることができる。
<p>1</p>	<p>あしたへジャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくなった自分のことをふりかえろう ・すてきなところを教え合おう 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が小さかった頃のことを調べ、自分の成長の喜びをもつことができる。 ・自分ができるようになったことを分かりやすく表現することができるとともに、成長した自分に自信をもつことができる。
<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくなった自分のことをまとめよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・本などにまとめ紹介し合うことにより、自分の成長に気付くとともに自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持つことができる。
<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうをとどけよう。 ・すてきな3年生になろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった人に感謝の気持ちをこめて、お礼の手紙を書くことができる。 ・3年生になる喜びや決意を自分の言葉で表現できる。